

第 54 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	村澤ゼミ	チーム名	チームよしだ
タイトル	MLB における得点期待値と得点確率		
テーマ群	a) 理論・情報		
メンバー	由田 快雅		
研究計画内容	<p>【研究背景】</p> <p>私は、子どもの頃から野球観戦が大好きである。今までは、漠然と野球観戦をしていたが、セイバーメトリクスのような概念を知ってからは、いろいろな魅力を感じながら試合を観戦することができるようになった。特に、得点期待値や得点確率は、試合に勝つためには必要不可欠なものなので、この研究に至った。</p> <p>【研究内容】</p> <p>私の研究は、MLB の 2021 年から 2023 年までのシーズンの全てのプレーを取り上げる。アウトカウント 3 種類と走者状況 8 種類を掛け算して得られる 24 種類の状況が出現した後に、インニングが終了するまでにどの程度得点されているかと、1 点以上得点される確率を詳細に検証する。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>この研究の目的は、MLB の観戦をより戦術的かつ戦略的に楽しむための知識を提供することである。得点が入りやすい状況を予測できるようになることで、試合の進行やチームの戦術を深く理解したうえで、より満足に観戦できるだろう。観戦者がプレーの背後にある戦術を把握することで、試合の興奮をより一層味わうことができる。この研究を通じて、1 人でも多くの人が、新たにいろいろな視点で野球を観戦できることを望んでいる。</p> <p>【参考文献】</p> <p>鳥越 規夫(2014) 『勝てる野球の統計学』</p> <p>Max Marchi, Jim Albert, Benjamin S. Baumer (2020) 『R によるセイバーメトリクス入門』</p>		